

令和 6 年 6 月 12 日

令和 5 年度 特別の教育課程の実施状況等について

学 校 名	管理機関名	設置者の別
奈良県立法隆寺国際高等学校	奈良県教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
奈良県立法隆寺国際 高等学校	https://www.e-net.nara.jp/hs/horyujikokusai/index.cfm/1,0,77,html

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
奈良県立法隆寺国際 高等学校	https://www.e- net.nara.jp/hs/horyujikokusai/index.cfm/1,47,29,1,html	

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
 一部、計画通り実施できていない
 ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
 実施していない

<特記事項>

本校は UNESCO(国連教育科学文化機関)からユネスコスクールの認定を受けており、毎年度開催している研究発表の機会である「ユネスコフォーラム」を通して、保護者、地域の方々及び連携している大学の先生方等を招き、活動の成果を公表している。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

必修の「日本史 B」「日本史探究」を基礎とし、歴史と文化に関する学校設定科目を学び、「課題研究」等での調査活動や研究発表を通して、本校の教育目標である「自ら学び、考え、実践できる次代の担い手となり、社会に貢献できる人間の育成」を目指している。さらに、様々な学習を通して実習やフィールドワークを行うことで、多様な学びの場を設けることができている。一方、課題として、その研究発表の質を一層向上させる必要があると考えている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

必修の「日本史 B」「日本史探究」を基礎として、歴史と文化に関する学校設定科目を学ぶことにより、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養っている。それにより、豊かな人間性、創造性を養い、専門的な知識や技能を習得し、社会について理解を深め、その発展に寄与する態度を身に付けることができる。一方、それらに生徒が更に主体的、積極的に取り組んでいくことが課題としてあげられる。

4. 課題の改善のための取組の方向性

生徒の調査活動や研究発表の一層の質の向上をはかるために、生徒相互の討論や議論の機会を増やし、互いに意見を述べ評価し合って学習意欲を高め、討論に十分対応できる知識と考察力、判断力を身に付けるよう学習活動を充実させる。また、それによって生徒がより主体的、積極的に取り組むようにしていく。